

# 都心・三宮NEWS



都心・三宮の再整備に関する  
アクションプラン

2019年度版



都心の  
将来像を  
表現する  
3つの柱

日々の刺激と物語が生ま

心地良い  
デザイン

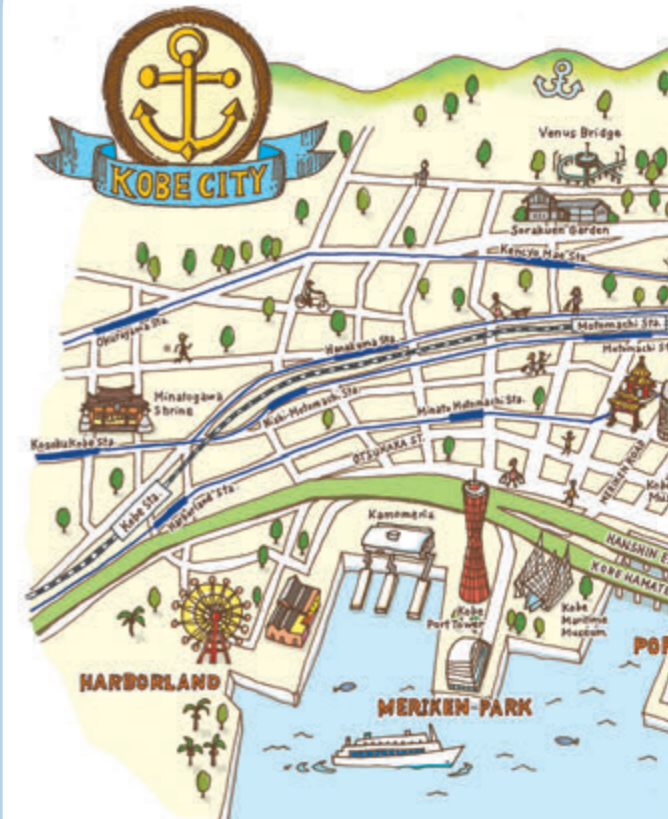
瀬戸内の穏やかな気候に恵まれ、海と山を身近に感じられるコンパクトな都心の中に多種多様な交通インフラが発達し、活動しやすい空間が形成されている。まちなかではモザイク状に広がる拠点それぞれが、特色を際立たせながらも絶妙な調和を見せている。ここに美しい景観やわかりやすいまちの情報が加わり、誰もが心地良く過ごし、働き、活動することができる。

出会い、  
イノベーション、  
そして文化

古くから国際色豊かな港町として発展してきた歴史と、神戸の特色であり魅力である「進取の気性」を活かし、多様な文化と新しい気風を取り入れながら、個性豊かな人やまちが育ち、神戸独自の文化がより一層醸成されている。国籍、年齢、性別などの垣根がなく、様々な人々が交流・融合することで技術革新や新産業の創出が起こり、社会経済が持続的に、そしてグローバルに発展する。

しなやかで  
強いインフラ

阪神・淡路大震災を経験した神戸市として、復興の過程で培われてきた防災力とともに、環境負荷を低減しながら非常時にも機能を保持するエネルギーシステムや、地域と地域をつなぎ、誰もが動きやすく人にやさしい交通体系を備えている。これら安全・安心な社会インフラが都市活動を支えることで、50年後、100年後にもずっと魅力的なまちであり続ける。



～多文化・多世代交流

まちの将来

「デザイン」の視点で、人を主役にした神戸らしい景観とそれを感じながら歩いて楽しむまちの実現に取り組みます。

訪れたたくさんの人をもてなす、神戸ならではの世界に誇れる美しく魅力的な夜間景観の創出に取り組みます。

都心にある公園や広場を活かし、もっとたくさんの方が自由に楽しみ交流できる、にぎわいの場づくりに取り組みます。



### 500 Startups プログラムの実施

2016年度より実施中

ITを活用し社会にイノベーションを起こし得るスタートアップ（成長型起業家）を集め、育成する支援に取り組んでいます。

#### 500 Startupsとは…

シリコンバレーにある世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体であり、世界60か国1900社以上に投資しています。日本での育成プログラムは神戸でしか行われていません。



最終発表会の様子(平成29年10月)

### 特定都市再生緊急整備地域の指定

2016年11月24日施行

都市の再生に貢献する優良な民間都市開発事業の促進等を通じて都市の国際競争力の強化を図る「特定都市再生緊急整備地域」に全国で13箇所目の指定を受けました。



位置図

### メリケンパークの再整備

2016年度完成

「みなと神戸」の顔として、芝生広場の整備や夜間景観の演出など、快適でにぎわいのある公園へリニューアルしました。(神戸開港150年記念事業)



完成後

### KOBEパークレットの整備

MAP ①

2018年度 GOOD DESIGN賞受賞 道路のリデザイン

道路における憩いやにぎわい創出のため、三宮中央通りと京町筋にパークレットを設置しました。壁面を活用した広告による協賛金を地域のまちづくり活動に充てています。



設置状況



#### パークレットとは…

車道の一部を利用し、ベンチやテーブルを配置した誰でも自由に使うことができる空間で、日本初の取り組みです。

### 神戸ポートオアシスの建設

2017年度完成

港で働く人や市民・来街者、みなさんの多様な活動と交流の場として、周辺の歴史的建造物と調和したデザインの施設が完成しました。(神戸開港150年記念事業)



完成後

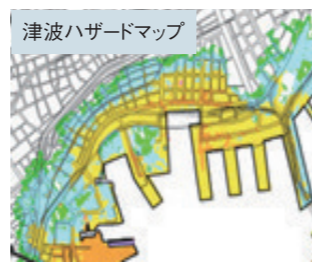


位置図

### 津波対策の推進

2019年度完成予定

南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、浸水深を人命に影響を与えないとされる30cm未満に抑えるため、防潮堤等の補強に取り組んでいます。



出典:兵庫県「南海トラフ巨大地震津波浸水想定図」(2014年2月)

#### 前提条件

- 兵庫県(2014年2月)
- ▶津波が防潮堤等を越流した場合、破堤する
- ▶防潮堤等の沈下を考慮
- ▶全ての鉄扉が開放

#### 津波対策



出典:神戸市「南海トラフ巨大地震に伴う津波対策計画」(2015年9月)

#### 前提条件

- 神戸市(2015年9月)
- ▶防潮堤等をねばり強い構造に補強することにより、津波が防潮堤等を越流した場合、破堤しない
- ▶防潮堤等の沈下を考慮
- ▶全ての鉄扉が閉鎖

凡例 [浸水深] ■ 5.0m以上 ■ 4.0m以上~5.0m未満 ■ 3.0m以上~4.0m未満 ■ 2.0m以上~3.0m未満 ■ 1.0m以上~2.0m未満 ■ 0.3m以上~1.0m未満 ■ ~0.3m未満

### コミュニティサイクル「コベリン」の拡充

2018年度完了

複数の拠点で自転車の貸出返却が可能なコミュニティサイクルのさらなる利便性向上を図るため、ポート(貸出返却拠点)を、15箇所にも拡充しました。



三宮駅前ポート

### 三宮プラッツのリニューアル

MAP ②

2019年度完成予定 道路のリデザイン

「にぎわい」「憩い」の拠点としてふさわしい空間になるように、リニューアルに取り組めます。

#### 三宮プラッツとは…

2016年2月に市民投票により愛称を決定した、三宮中央通りに隣接する半地下の広場です。



位置図

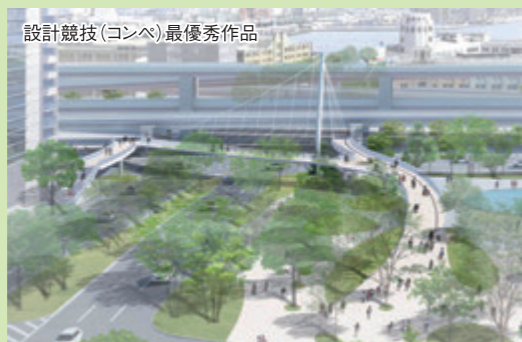


光のミュージアム 凡例  
2020年までに完成予定  
中・長期的な事業

## その他の事項

### 税関前歩道橋の リニューアル

三宮周辺地区とウォーターフロント間の回遊性向上に向け国道2号とフラワーロードが交差する税関前歩道橋のリニューアルに取り組めます。



設計競技(コンペ)最優秀作品

### 本庁舎2号館の再整備

老朽化が進む本庁舎2号館は魅力的な神戸らしさを発信する空間として建て替えを検討しています。周辺地区への人の流れを創出するにぎわい機能の導入や中規模の音楽ホール等の建設を予定しています。

### 新中央区総合庁舎の整備

現在の本庁舎3号館の場所に中央区庁舎を移転し、併せてこれまで労働会館・葺合文化センター・生田文化会館が担ってきた文化施設としての機能のうち、会議室や多目的室を含めて新中央区総合庁舎として整備します。

### 連節バスの本格運行

都市の魅力・回遊性を高める新たな公共交通システム検討の一環として連節バスの本格運行を予定しています。



社会実験(2018年度)

### フラワーロード光のミュージアムの整備

2020年度完成予定 道路のリデザイン

フラワーロード(税関線)において、歩道や樹木、彫刻などをライトアップする「光のミュージアム」をテーマとした、魅力的な道路空間を創出する整備に取り組んでいます。



市役所前



6 ミント神戸

4 神戸国際会館

4

3

東遊園地

三宮都市模型（本庁舎2号館ロビーに展示）

### 真路南54号線の整備

MAP 4

2020年度以降完成予定 道路のリデザイン

道路空間のリデザインの先行的な取り組みとして、歩行者が楽しみながらまちを巡ることができるよう歩道の拡幅に取り組んでいます。



完成部分の状況

### 東遊園地のリニューアル

MAP 3

2021年度 北側のリニューアルオープン予定

都心の貴重なオープンスペースである東遊園地を、グラウンドの芝生化やにぎわい創出事業などの社会実験を通して、都心の活性化や回遊性向上の拠点として、リニューアルに取り組みます。



### 神戸阪急ビル東館建替え

MAP 5

2021年度完成予定

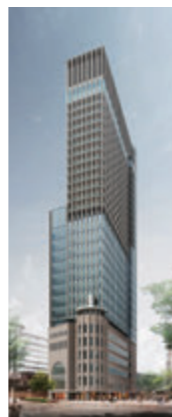
阪急電鉄株が、阪神淡路大震災以後の仮設であった駅ビルの建替えに2016年より着手しました。神戸の玄関口として新たなランドマークとなることが期待されています。

#### 計画概要（予定）

- 〔階数〕 地下3階、地上29階
- 〔最高高さ〕 約120m
- 〔延床面積〕 約28,500㎡
- 〔用途〕 商業施設、オフィス、ホテル等

#### ビルの特徴

- ▶地下鉄などの連絡がより円滑に
- ▶1階にゆとりあるイベントスペースを確保
- ▶最上階に展望フロアを設置
- ▶ビルの低層部において、旧神戸阪急ビル東館のデザインを再生



外観パース（阪急電鉄株提供）



旧神戸阪急ビル東館

### 知的交流拠点の整備

2021年度運用開始予定

医療関連を含む神戸の地場企業やIT関連企業、大学、研究機関など、産学官が参画・連携し神戸の産業にイノベーションを起こすことを目指し、知的交流拠点の整備に取り組んでいます。



交流拠点イメージ

### さんきたアモーレ広場の再整備

2021年度完成予定

「さんきたアモーレ広場（通称：パイ山・デコボコ広場）」は、神戸有数の待ち合わせ場所として多くの人でにぎわい、親しまれてきました。神戸阪急ビル東館開業にあわせた広場の再整備に向けて、神戸の玄関口にふさわしい、より多くの人に愛される空間となるようなデザインを募集し、220点の応募作品の中から新たな広場のデザインが決定しました。



最優秀賞受賞作品

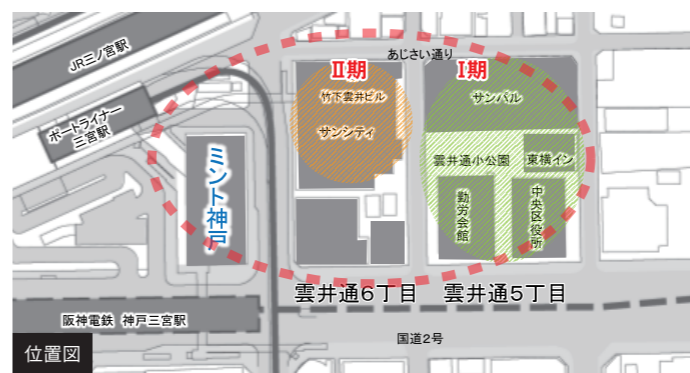
### 新たなバスターミナルの整備

MAP 6

2025年度頃：I期供用開始予定

三宮駅周辺に分散している中・長距離バスの乗降場を集約し、雲井通5・6丁目エリアとミント神戸の1階に整備されている三宮バスターミナルとの一体運用を想定した新たなバスターミナルの整備に取り組んでいます。

整備に向けてはエリアを複数のブロックに分けて段階的な施行を予定しています。先行するI期（雲井通5丁目）については、2018年5月に再開発株式会社を設立し、9月には事業協力者を決定するなど取り組みを進めています。



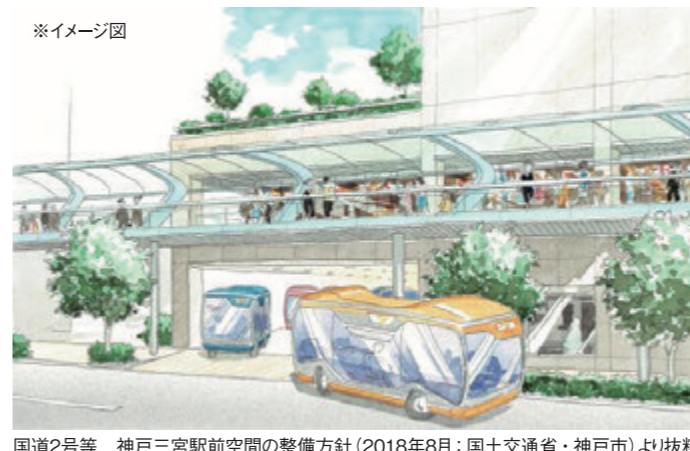
位置図



I期事業協力者の提案ビルイメージ

※そのまま実現されると決まったものではありません

※イメージ図



国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針（2018年8月：国土交通省・神戸市）より抜粋

### 「三宮クロススクエア」の整備

MAP 7

2025年頃「三宮クロススクエア」第1段階整備予定

三宮にある6つの「えき」とその周辺の「まち」をつなぐ空間を、『えき～まち空間』として、デザインにも配慮した、神戸にふさわしい玄関口にしていきます。その核として、三宮交差点を中心に、人と公共交通優先の空間『三宮クロススクエア』の整備を進めています。

『三宮クロススクエア』の実現に向けては、

- ▶三宮中心部を通過する自動車交通の周辺道路への誘導
- ▶都心の道を人のための空間とするための、歩行環境の向上
- ▶分かりやすく使いやすい交通手段の導入
- ▶交通弱者の方や事業者の荷捌きなどへの配慮

などの検討を合わせて進め、段階的な整備に取り組めます。また、駅周辺の地下・地上・デッキレベルの歩行者ネットワークを強化するとともに、分かりやすい縦動線や滞留空間の整備により、「えき」と「まち」が平面的にも立体的にもつながり、移動しやすく心地良い『えき～まち空間』を創出します。



えき～まち空間と「三宮クロススクエア」のイメージ



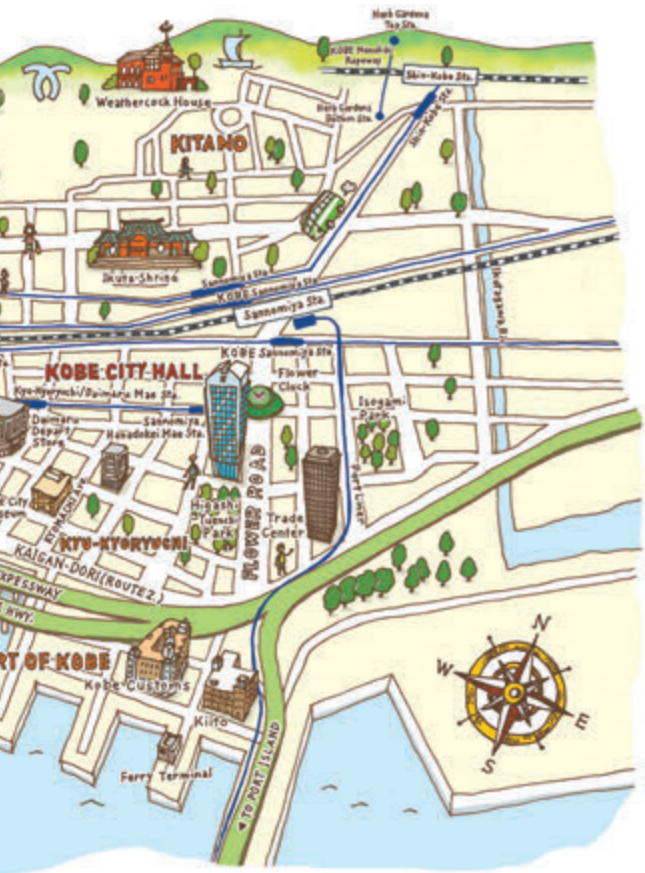
<第1段階>「三宮クロススクエア」東側の車線減少（2025年頃）



「三宮クロススクエア」将来イメージ

# れる美しき港町・神戸

都心に備える **8つの軸**



- 景観** あちこちで神戸を感じられるまちへ
- にぎわい** 次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ
- 生活・居住** 人がつながり、まちに溶けこみ、自分らしい生活がおくれるまちへ
- 産業** 人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ
- 観光・文化** 五感に響く心地良さと、おもてなしのあるまち、そして、港町としての歴史と文化の息づくまちへ
- 防災** 不測の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ
- 環境・エネルギー** 環境に優しく、エネルギーをスマートに活用する持続可能なまちへ
- 交通** 誰もが使いやすい交通手段が整い、歩く人が中心のまちへ

あなたが参加しているまち～

## イメージ

個性的なまちを自動車がなくとも誰もが快適に移動できる効率的な交通システムの構築に取り組みます。



都心にある道を人のための空間とし、たくさんの方が集まり交流できる、にぎわいの場づくりに取り組みます。



新しいアイデアを生み出す無限の可能性を持つ若者への積極的な支援や、企業・大学との知的交流拠点の整備に取り組みます。



## 主な事業のスケジュール一覧

短期的な事業	2016	2017	2018	2019	2020	2021
メリケンパークの再整備	工事					
神戸ポートオアシスの建設	工事					
コミュニティサイクル「コベリン」の拡充		ポートの拡充				
三宮プラッツのリニューアル		社会実験 設計		工事		
津波対策の推進			工事			
東遊園地のリノベーション	社会実験、 リノベーションプラン策定	芝生化継続		設計		工事（段階的な整備）
葺合南54号線の整備			工事			
フラワーロード光のミュージアムの整備			工事（国際会館前交差点から加納町3丁目交差点付近までの区間を除く）			
神戸阪急ビル東館建替え			工事			
KOBEパークレットの整備	社会実験			社会実験の結果を踏まえた展開		

中・長期的な事業	～2020	中期	長期
新たなバスターミナルの整備	調整・計画・設計	工事（段階的に整備）	
三宮クロススクエアの整備	社会実験 設計	工事（段階的に整備）	

- その他の事項**
- 税関前歩道橋のリニューアル
  - 本庁舎2号館の再整備
  - 新中央区総合庁舎の整備

- ソフト施策**
- 特定都市再生緊急整備地域の指定
  - 500 Startupsプログラムの実施
  - 知的交流活動の支援（知的交流拠点の整備）

**都心・三宮の再整備に関するアクションプラン** 初版発行 平成28年12月

アクションプランは、都心・三宮の再整備について、今後5年程度を目安とした事業計画を示すことで、市民の皆さんに対し、「都心・三宮の動き」をお見せするために作成しました。今後も、事業の進捗状況を反映し、お知らせしていきます。  
※本誌の記載内容は、平成31年4月時点のものです。

都心・三宮の再整備に関する情報については、下記ホームページからもご覧いただけます。

**神戸市「都心・三宮の再整備」**  
<http://www.city.kobe.lg.jp/kobetoshin/>

**プロモーションサイト「都心・三宮再整備 KOBE VISION」**  
<http://kobevision.jp/>

表紙の写真は、都心・三宮の再整備のプロモーション活動「1000SMILEプロジェクト」にて撮影したものです。

神戸市都心再整備本部都心三宮再整備課 TEL:078-322-6934 FAX:078-222-1605 mail:kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp